



日本工学アカデミー関西支部  
2022年度上半期講演会



AI・自動化のイノベーションが人間社会にもたらす光と影と技術倫理

私たちの周りではこれまで、様々な場面において、ロボットのような機械がヒトに替わって作業を実行できるように、人工知能（AI）や自動化（automation）の技術が導入されてきました。とくに超高齢化社会を世界に先んじて迎えるわが国では、近い将来の生産年齢人口の急激な低下による生産力を補うために、ロボットやAIへの期待が高まっています。一方、AIによる“テクノロジー失業”が深刻な課題になるとともに、技術主導で進む将来の労働現場の大幅な変化に対して、ヒトが不適応を起こすことも少なからず危惧されます。とくにいまやロボットや自動化機械は、私たちの身の回りや生活世界に入り始めています。将来、機械の能力が上がれば上がるほどに、逆にヒトと機械が協力して働かなければならない場面はいまより多くなると考えられます。本講演会では、近年ますます議論が高まる“AI社会”の光と影の部分について考えたいと思います。内閣府は「AIは人間の基本的人権を侵さない」など7つの原則を提示しています。AIを活用した製品やサービスには、今後何が備わらなければならないのでしょうか。AIが倫理観を持つには、自らを客観的に見つめることのできる自己意識と、他者との共感や誤った信念を推測できる能力が必要となりますが、果たしてAIは倫理観を学習できるのでしょうか。また、AIが出した答え、トラブルの責任の所在はどこに求めることができるのでしょうか。これらの課題について、皆さんと一緒に考えてみる機会になれば幸いです。会員のみならず、本講演にご興味ある皆様のご参加を歓迎します。

2022年12月26日（月）

ハイブリッド開催（Web・京都大学桂図書館）

【プログラム】

（注）講演者・講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶 田中敏宏（日本工学アカデミー関西支部長・大阪大学理事・副学長）

13:10 企画趣旨説明 榎木哲夫（京都大学大学院工学研究科長）

13:20 基調講演（各45分）

1) 人とAIの意思疎通をはばむもの

西田豊明（京都大学名誉教授・福知山公立大学副学長）

14:05 2) Agile Governance & Beyond：Society 5.0時代の法制度

稲谷龍彦（京都大学大学院法学研究科教授）

14:50 休憩

- 15:10 3) 技術者倫理の歴史と哲学から考える AI・自動化  
伊勢田 哲治 (京都大学大学院文学研究科教授)
- 15:55 4) 総合討論  
司会 榎木哲夫 (京都大学大学院工学研究科長)  
SDGs の達成に向けた、科学技術 (工学) の可能性やアカデミア、民間企業  
の果たすべき役割について議論し、今後の連携のあり方について展望する。
- 16:50 閉会挨拶 EAJ 関係者

**【開催形式】** ハイブリッド開催 (オンライン・京都大学桂図書館)

※新型コロナウイルスの感染状況により、完全オンラインでの開催となる可能性もございませぬので予めご了承下さい。

**【参加申込 (参加費無料)】**

どなたでも参加できます。

事前登録制 (先着) : オンライン 300 名・会場 30 名

《オンライン参加申込》

ご登録の方に接続情報をお送りします。

(1) 氏名、(2) EAJ 会員 / 賛助会員 / 非会員の区別、(3) 連絡先電話及びメールアドレスを下記 URL または QR コードから入力の上お申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/f0712139141206>



《会場参加申込》

※京都大学桂図書館の定員は先着 30 名です。

(1) 氏名、(2) EAJ 会員 / 賛助会員 / 非会員の区別、(3) 連絡先電話及びメールアドレスを下記 URL から入力の上お申込みください。

<https://forms.gle/vQ6EC6GatW6DKb1eA>

※定員になり次第締め切らせていただきます。



**【問合せ先】**

京都大学桂地区 (工学研究科) 総務課総務掛

TEL: 075-383-2000 / Mail: 090ssoumu"at"mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

("at"を@に変更して送信願います)

主催 : 日本工学アカデミー関西支部

共催 : 京都大学大学院工学研究科

協賛 : 日本工学アカデミー中部支部